水郷筑波サイクリング環境整備事業
自転車走行環境整備ガイドライン　概要版

1. ガイドライン策定の趣旨

目的

本県では，水郷筑波地域において，地域の特性を活かした「回遊性のあるサイクリング」をテーマに，誰もが多様にサイクリングを楽しむことができる，日本一のサイクリング環境の構築を目指し，水郷筑波サイクリング環境整備総合計画を策定しました。

この計画の基本方針のひとつとして，「快適で安全・安心にサイクリングができる環境の整備」を掲げており，コースの安全性向上や案内標識・拠点施設などを統一的に整備することとしており，それらの整備のための統一的な考え方や基準を取りまとめた「水郷筑波サイクリング環境整備事業　自転車走行環境整備ガイドライン」を策定するものです。

適用範囲

つくば霞ヶ浦りんりんロード（つくばりんりんロードと霞ヶ浦湖岸道路を結んだ全長約180kmのサイクリングコース）を適用範囲とします。

2. ガイドラインの構成

本ガイドラインは，総合計画に位置づけられている「取組1．～取組4．」について具体的な整備に関わる基本的な考え方や仕様等を定め，日本一のサイクリング環境の構築を目指した整備の方針を示します

水郷筑波サイクリング環境整備総合計画

- 取組1．地域内走行空間の回遊性・走行性の向上
- 取組2．走行空間の安全性の向上
- 取組3．案内標識等の整備
- 取組4．拠点施設・休憩施設の充実
- 取組5．外国人等の様々な人々を受け入れるサイクリング環境の構築
- 取組6．手軽にサイクリングを楽しんでもらえる体制の構築
- 取組7．サイクリングに関する情報提供の充実
- 取組8．地域資源と連携したサービスの充実
- 取組9．駅や空港等からのアクセス性の向上
- 取組10．ルールを学ぶ機会の充実
- 取組11．トレーニング等による利用の機会の創出
- 取組12．地域におけるサイクリングの促進
- 取組13．サイクリングコースのブランドイメージ向上
- 取組14．サイクリングイベントの充実
- 取組15．地域におけるプロモーション・情報発信力の向上

本ガイドライン

自転車走行空間の整備に関すること
- 自転車走行空間の整備方針と整備基準

案内標識の整備に関すること
- 案内標識等の整備方針と基準
- 各案内標識等の設置基準等

拠点施設の整備に関すること
- 拠点施設の整備方針と整備基準
- 各拠点施設の設置基準等

3. デザインコンセプト

水郷筑波地域の特徴を踏まえたデザインコンセプト及び視覚デザインのポイント

水郷筑波地域の特徴	**豊かな自然や歴史的・文化的資産等の様々な地域資源** ・ 筑波山や霞ヶ浦を中心とした豊かな自然や美しい景観 ・ 肥沃な大地に広がる田園風景 ・ 桜川市のサクラ，潮来市のアヤメなど季節ごとの多様な風景 ・ 歴史的，文化的資産　等
デザインコンセプト	**肥沃な大地と筑波山。大きな湖。開けた空。** ・ おおらかでオープンな土地柄を表現し，コースに一貫したアイデンティティを付与
視覚デザインのポイント	**色：いばらきの景観にマッチした配色で一貫性のあるアイデンティティを形成** ・ ブルーは，霞ヶ浦の水面と広く大きな空を表現 ・ イエローは，そこに降り注ぐ光やサイクリングのエネルギーを表現 **ピクトグラム：統一したデザインによる分かりやすいピクトグラム** ・ サインの文字が左から右に流れることから，右向きのピクトグラムを用いる ・ 自転車ピクトグラムは左向き，正面（背面），右向きを用意し，サイクリストが直感的に進行方向を判断できるよう工夫 **タイポグラフィ：効果的な情報伝達** ・ 和文書体は可読性の高い見出しゴシック体を使用 ・ 欧文書体はアメリカの交通標識に用いられるInterstateを使用 ・ 5ヶ国語で表示とピクトグラムを組み合わせることで，インバウンドに対応

4. 案内標識等の整備

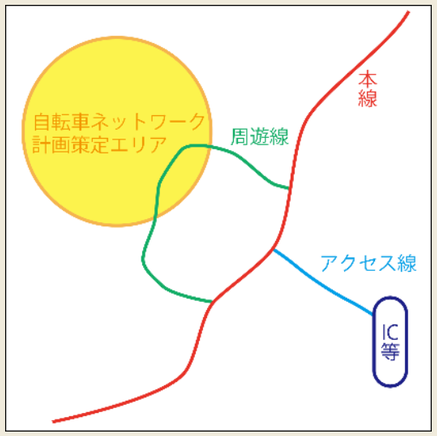
整備方針

○ビギナーや当地域を初めて訪れたサイクリストであっても，安全に安心してサイクリングを楽しむことができるよう，コース案内や注意喚起のための案内標識等の充実に取り組む

○ 案内標識等については，外国人も含めたすべての人に伝わるよう，多言語化やルールがひと目で分かるユニバーサルデザインへの対応に取り組む

適用範囲

案内標識等の適用範囲を以下のとおり設定する



種別	本線	アクセス線	周遊線	自転車ネットワーク計画策定エリア
矢羽根	水郷筑波仕様	国仕様	国仕様	国仕様
自転車ピクトグラム	水郷筑波仕様	国仕様	国仕様	国仕様
進行方向案内	水郷筑波仕様	水郷筑波仕様	水郷筑波仕様	-
注意喚起	水郷筑波仕様	水郷筑波仕様	水郷筑波仕様	-

〔種別〕 本線 ： つくば霞ヶ浦りんりんロード（約180km）
アクセス線 ： 拠点施設等から本線へのアクセス道路
周遊線 ： 本線以外に市町村が設定するサイクリングコース
自転車ネットワーク計画策定エリア ： 自転車ネットワーク計画を策定しているエリア

〔仕様〕 国仕様 ： 安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン（H28年7月）
水郷筑波仕様 ： 本ガイドライン

案内標識等の役割と種類

基本方針		機能	役割	
安心して走行できる	①利用者に分かりやすい充実したコース案内 ②サイクリング関連施設・観光地への分かりやすい誘導	案内	コース案内	・コース上の交差点や迷いやすい地点において，サイクリングコースであること及び進行方向を案内 ・現在位置，起点・目的地までの距離を案内 ・サイクリングコース周辺道路からサイクリングコースへの誘導案内
			目的地案内	・目的地を予告，目的地までの距離を案内 ・サイクリングコース周辺の観光地を案内
			コースマップ	・拠点施設でサイクリングコースの全体像を案内
安全に走行できる	③自転車利用者に通行マナー・ルールを周知	指示	横断方法指示	・交差点の横断方法を指示（特に二段階右折）
			左側通行指示	・左側通行を指示
	④危険箇所での注意喚起	警戒	自転車への注意喚起	・交差点手前での注意喚起（注意・徐行・とまれ） 等
			自動車への注意喚起	・幅寄せしないことを促す等
			歩行者への注意喚起	・自転車に注意することを促す

自転車走行空間の明示とコース案内の規格

	本線用	アクセス線用	歩行者向け用	進行方向案内
役割	サイクリングコース本線を案内	本線へのアクセス案内	本線へのアクセス案内	進行方向を案内
設置箇所	本線	アクセス線（主要拠点等から本線）	歩行者通路（駅等の公共施設内，歩道等）	交差点部や屈曲部等
設置基準	単路部：10m間隔 交差点内：1m間隔	単路部：10m間隔 交差点内：1m間隔	上記のうち必要な箇所	交差点部や屈曲部等の手前から10m,5m,1mの位置
デザイン	＜標準形＞ ＜縮小形＞ 			

多言語化への対応

○案内標識等の語句については，外国人等様々な人々がサイクリングを楽しむことができる環境を構築するために，日本語と英語の併記を基本とする。
特に，注意喚起については，成田空港の多言語化の事例を参考に，英語，タイ語，中国語(簡体，繁体)，韓国語の5ヶ国語を併記する。

基本形

（日本語）

（英語）

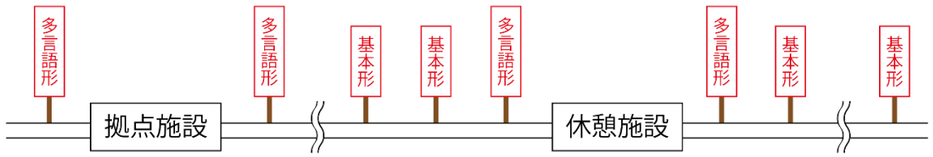
多言語形

（日本語・中国語）

（英語）

（タイ語）

（韓国語）



※拠点施設や休憩施設から最初の標識は多言語形を使用し、その他は基本形を使用する。

5. 拠点施設の整備

整備方針

○ 安心してサイクリングを楽しんでもらうため，一定規模の駐車場を有した施設や鉄道駅等の拠点施設を中心として，サイクリストのニーズを満たす高い水準の機能を持つ施設を整備する

○ 既存施設の機能充実を図るとともに，理想的な間隔となるように拠点施設を配置する

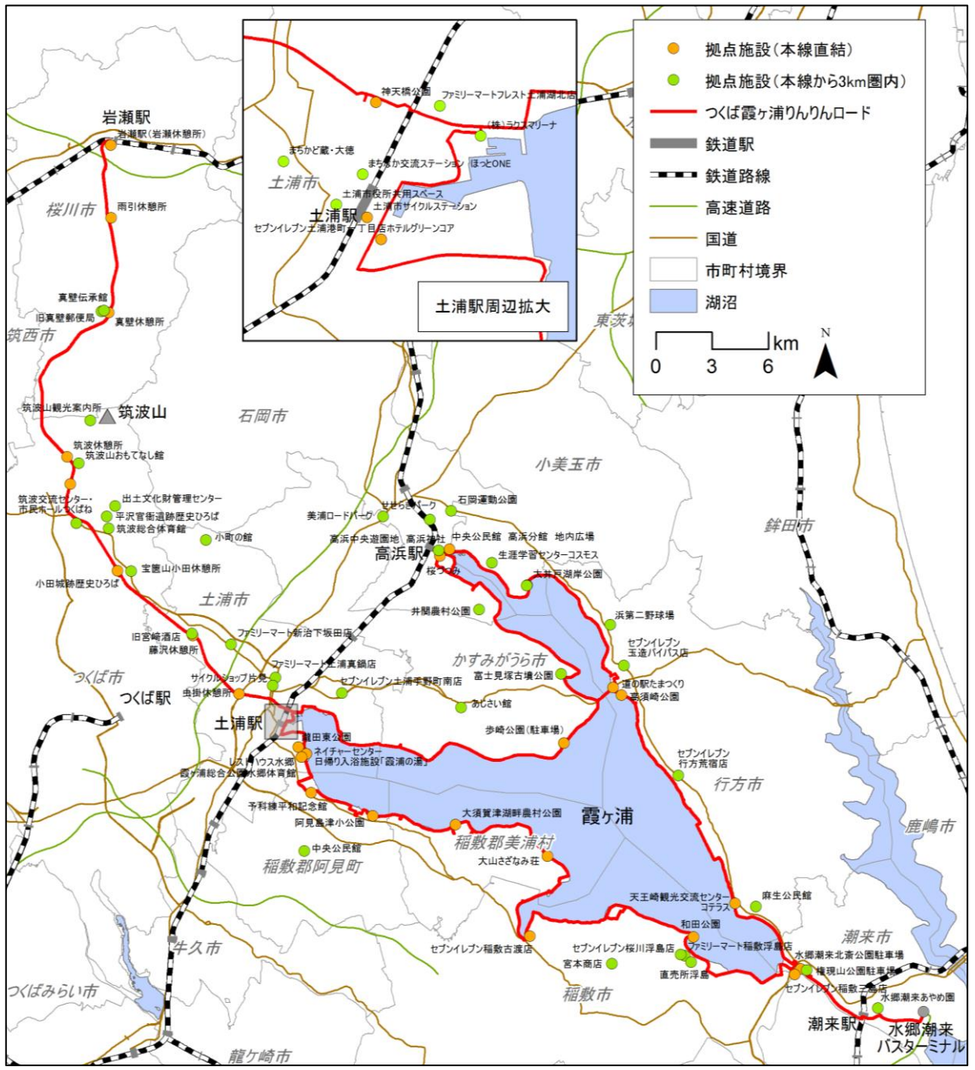
整備する拠点の種類と設置基準

	名　称	役　割	対象施設
TP	サイクリング ターミナル （駐車場）	・一定規模の駐車場を有し，自動車から自転車への乗り換えが可能な施設 ・サイクリングの起終点となる施設	—
TT	サイクリング ターミナル （鉄道駅 等）	・鉄道駅など，公共交通から自転車への乗り換えが可能で，コインロッカーやレンタサイクルを有する施設 ・サイクリングの起終点となる施設	—
RP	休憩所	・サイクリング時に休息の場を提供する施設 ・トイレ，給水，日除け，ベンチ等を提供する休憩施設	・10km以内の間隔で設置することを基本とし，10km以上になる区間についてはポケットパークを適宜設置する。
PP	ポケットパーク	・サイクリング時に休息の場を提供する施設 ・日除け，ベンチ等を提供する簡易的な休憩施設	・5km以内の間隔で設置する。
SS	自転車サポート ステーション	・サイクリング時に休息の場を提供する施設 ・軽飲食や工具貸出等のサービスを提供する施設	・自転車サポートステーション認定施設(コンビニ等)

その他

PS	フォトストップ	・撮影スポットを知らせる施設	・撮影スポット

既存の拠点施設の配置



県産木材の利用

○拠点施設には，県産木材の利用推進を図ることとする。

県庁行政棟　11階アトリウム テーブル・椅子	県フラワーパーク（石岡市下青柳） 四阿（あずまや）	水郷県民の森（潮来市島須） 公衆トイレ

※ 県産木材を利用した整備事例

6. 標識レイアウト一覧

2016.08.14

つくば霞ヶ浦りんりんロード サイン一覧【水郷筑波仕様】

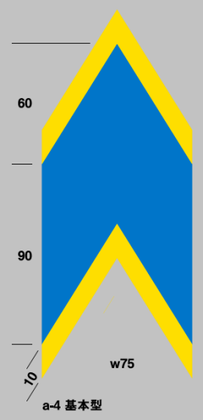
縮尺： 1/10

JIS: 10B, V4, C10
Pantone: 3005 C

JIS: 2.5Y, V8, C14
Pantone: Yellow C

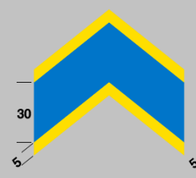
JIS: ＝＝, V＝, C＝
Pantone: 185 C

路面標示



a-4 基本型

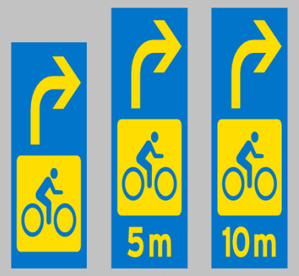
a-5 アクセス



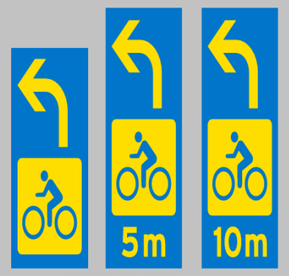
a-4 縮小型

a-6 歩行者向けアクセス

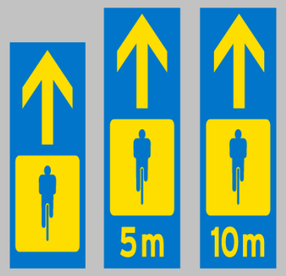
a-10 現在位置案内



a-1 コース進行方向案内（右折）
w38 x h110　w38 x h130　w38 x h130



a-2 コース進行方向案内（左折）



a-3 コース進行方向案内（直進）

w120xh120
a-7 サイクリングコースへの案内

a-11
w60xh60

a-12

アクセス（自動車）
w60 h200
a-16

c-1 w45 x h120　c-1　c-1　c-4　c-8

c-1
w45 x h50

c-3

c-2

c-1
w45 x h75

c-3
w45 x h90

c-2

c-1
w45 x h90

c-1

c-1

c-4

c-8

c-9
w45 x h100

c-9

b-2

c-3
w65 x h110

看板

R=1cm

w70xh31
a-11

R=1cm

アクセス（自動車）
案内看板
w50 x h180
a-16

R=1cm

アクセス（自動車）
柱案内標示
w40 x h170

c-7

c-3

c-1

c-1

c-1

c-8 ※寸法は幅員に合わせて変更

c-10

c-12

c-11

c-9 ※数字は勾配に合わせて変更

c-9 ※数字は勾配に合わせて変更

c-4
w60 x h90

c-6

b-2